

第 45 回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会 会長挨拶

本日、ここに、第 45 回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、ご多用のところ、全国各地からご参集いただき、このように盛大に本大会を開催できましたことを、まずもって厚く御礼申し上げます。

また、本大会には、公務ご多忙のところ、厚生労働省労働基準局安全衛生部長 平野良雄様、国土交通省東北運輸局長 木場宣行 様、警察庁東北管区警察局総務監察・広域調整部広域調整第二課長 森屋昭雄 様、そして、開催地であります岩手県商工労働観光部雇用対策・労働室長 伊藤昇太郎 様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜りましたことを誠に光栄に存じ、厚く御礼申し上げます。

さらに、本日は、労働災害の防止に顕著な功績をあげられました事業場、団体、個人の方々への表彰を行うこととしております。受賞されます皆様方には、これまでのたゆまぬご努力、ご精進に対し深く敬意を表しますとともに、今後の益々のご活躍を祈念申し上げます。

さて、当協会では、昨年度、新たな「労働災害防止 5 か年計画」を策定いたしました。この計画では、平成 24 年度までの計画期間中に、労働災害による死亡者数を 20%以上減少させ、また、死傷者数も 15%以上減少させるとともに、過重労働による健康障害の防止を図ることなどを目標としております。

そして、この計画に基づき、本部、支部、会員事業場の皆様方が一丸となり、「荷役運搬作業の安全の確保」、「交通労働災害の防止」、「健康確保対策の推進」などを重点として、積極的な労働災害防止活動を展開してきております。

陸運業における労働災害の動向をみますと、皆様方のたゆみないご尽力もあり、死亡者数は、昨年は 148 人と、これまでの最小となり、本年におきましてもさらなる減少の傾向を堅持しております。

他方、労働災害による死傷者数は、長期的には減少の傾向にありますものの、昨年は前年比 1 割近く増加となるなど、この数年で横ばいないし増加の傾向に転ずるのではないかと懸念もされております。しかしながら、本年に入りまして、この夏までの状況ではありますが、死傷者数は、昨年の夏までとの比較で、1 割以上減少した数となっております。

このような労働災害の動向を踏まえますと、死亡災害をなお一層減少させていくとともに

に、死傷災害の増加傾向に歯止めをかけ、さらに減少に転じさせるため、引き続き積極的な労働災害防止活動を展開していくことが必要であります。

陸運業界は、引き続き厳しい経営環境のもとにあります。こうした環境を踏まえつつも、労働災害を防止し、働く人々の安全と健康を確保していくことは、時代を問わず基本中の基本であります。これは企業や陸運業の発展のためのみならず、我が国の経済発展や国民生活の安定に資するためにも、業界をあげて取り組まなければならない最重点課題であります。

本日、ご参集された皆様方におかれまして、本大会を契機に、これまで以上に充実した実効ある労働災害防止活動を展開されますようお願い申し上げる次第であります。

最後に、本大会開催に大変ご尽力をいただきました岩手県支部をはじめ関係者の方々に厚く御礼申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍、企業と陸運業界の発展を心から祈念し、私の挨拶といたします。

平成 21 年 10 月 28 日

陸上貨物運送事業労働災害防止協会会長

岡部 正彦